

旬刊

東北の工時報

行發日廿日十日一回三月每

吉梅越堀行發兼輯編
三廿町川新町平縣島福印
社報時工商北東所行發

圓一金行一料告廣
錢卅月ヶ二錢十金部一
圓三共稅郵年ヶ一



番九電 目五丁町平

大浦村有権者諸君に檄す！

全國一齊に地方市、町、村會議總改選の政戦の幕は切つて落され石城の天地にも、平野にも、市街にも凄じき戦塵をまき上げ、立候補と其の一黨の戦士は緊張の極に達し、闘志旺んなるものがある。立候補者を熱接する骨肉、同志、隣人は必勝を期して最後のゴール目指して日夜不斷に戦術秘策をめぐらしてゐる。戦勝つて光榮ある戦利の榮冠を戴いて祝杯を擧げるか、又戦利あらず敗軍の將となつて候補者を圍んで血涙はふり落すか一に懸つて有権者各位の「清キ一票」の行使の如何にある？ 憲政の大義を正當に認識し地方自治制の確立は二團憲政の基本なる自覺して神望なる投票權を勇敢に行使する有権者の數多々益々増大すればする程、日本の憲政と地方の自治政は、正しく明るいものとなるは自明の理であらねばならぬ。最近、政黨政治の委微不振を大衆は合言葉してやまぬ、政黨政治の崩壊をすら疑念する一部の人士もある。政黨の信用地に墜ちて、憲政の明日に對して憂慮せらるる昨今ではある或は、英雄獨裁政治、フアツシヨを叫び、輿論政治を排撃する人はあれどもやがて天下の大勢常道に戻らば、憲政の常道は復歸し、地方自治は刷新される明期六月の大空を仰じも夫れ遠くはあるまい。我が敬愛なる兩村有権者大衆諸君！ 諸君は大平洋近く生活せられ日夜不斷に濤聞潮音にその耳を洗はれその心を澄さるゝ自然の環境に恵まれたる美はしき純眞な心情の所有者である國縣日本の現狀を縮視し憲政の明日を待望し、自治の現實を深察して、理想村、兩村創建の一途に向つて突進せられん事を如上の望願實現の第一歩は來るべき投票の動向如何にある。自賢せる兩村民諸賢の深慮と決斷に待つ？

長谷川紫水

大浦村政戦概見と候補者人物短評

候補者人物短評

大浦村々議總改選は來る六月二十五日、大浦小學校内を投票場として午前七時より午後四時締切にて執行せらるゝ事となつた。
有権者總數八百六十五、死亡十二、確定有権者數八百三十九である。
選舉長は木村清治氏立會人は早川鐵藏根本直之助高崎兼治郎、渡邊春七の四氏である。

渡邊貴一氏

事務長 早川鐵藏氏
氏は明治十六年生れ、警中出身にして陸軍少尉である。前在郷軍人分會長の榮職にあり社會公共のため奉仕したる業績甚大である。

會川利作氏

事務長 吉田忠太郎氏
氏は明治十五年生れにして前警城セメント社員である。資性温厚篤實此度大衆より絶對支持を受けて政戦場の闘士となつた。當選は確實

新妻忠治氏

事務長 賀澤茂作氏
氏は前消防小頭にして村民の信望厚く、熱烈なる支持者の應援は氏の頭上に名譽の榮冠を戴かせる事必然

高木林平氏

事務長 高木鶴治氏
氏は明治十九年生れにして民の信望厚く、熱烈なる支持者の應援は氏の頭上に名譽の榮冠を戴かせる事必然

片寄甚松氏

事務長 吉田久之進氏
氏は明治八年生れにして老巧の長者である。前區並に現小川江筋水利議員として區政及農政に努力し衆望を集めて此度立候補を宣した。

高崎清壽氏

事務長 蘭部春次郎氏
氏は明治卅一年生れの少壯新進の士、前大浦信用組合書記として令名ある新人である。

鈴木武兵衛氏

事務長 鈴木長太郎氏
氏は明治九年生れにして修練積んだ老巧者である。現在消防小頭の榮職にあり社會公共のための幾多の業績を遺し村民よりの信頼も厚く當選は確實

根本甚吾氏

氏は明治十五年生れ、前消防組頭役場書記等の名譽職を勤め大衆の信賴絶對的にして此度の政戦に於ても雄強を得らるゝ人。

新妻辰尾氏

事務長 高崎嘉三郎氏
村民は根本氏的美徳を稱揚すると共に立候補者新妻氏のため絶對の熱援してやまない。

中野忠太郎氏

事務長 猪狩義中氏
氏は前消防小頭として公氏

根本權次郎氏

四倉銀行外各會社重役根本權次郎氏は大浦村出身の人にして常に郷土のため献身仕したる業績赫々たるものがある。

同志の苦戦に力闘する

長谷川紫水
同志の苦戦に力闘する

大野村々會議員選舉特輯號

大野村々議政戰

とその顔觸れ

本郡大野村々會議員總改選は来る卅日を以て執行されるが定員十二名に對して立候補者二名位超過を豫想され相當激戦の巷と化すべく目下確定と見られる顔觸れは左の如くである。

吉田榮次郎氏

氏は新立候補者にして新進氣鋭の少壯者社會公共のため献身の熱情に燃ゆる人である。

草野眞平氏

氏は過去二期八年間を通じて村治のため奉仕したる業績顯著なるものがある。此度村民大衆の輿望を擔ふて政戦陳頭に馬を進めた當選確實の人と見られてゐる。

會田喜一氏

村議たる事二回、その手腕力量は既に定評がある。村民は三度村政論壇に送り出すべく協力一致支持しつゝある。

西山惠一氏

氏は四倉驛前に四倉鐵工場を經營しつゝある事業家である。

資性極めて温厚篤實思慮周到なる人格者にして立候補者中斷然光彩を放つて居

鈴木文雄氏

氏は村議たる事二回、今や修練積める手腕家として大衆より推擧されて三度立候補を宣した。

野木明氏

立候補者中の新人にして少壯氣鋭の士政戦の巷に勇敢に奮戦しつゝある。

木村忠一氏

新候補者にして相當の人氣を集めつゝ政戦場に健闘しつゝ、光榮ある當選を目指してゐる。

西山正清氏

過去八年二期の村議を経て今や前途有爲の士にして名聲噴々たるものがある氏が周圍の熱烈なる支持は盡し氏をして名譽の榮冠を戴かしめるだらう。

中野幸平氏

氏は前村長として赫々の

名聲を稱えられ功名成つた人である。村議たる事二回既に老練達識の士として折紙づけられた人である。

木村庄助氏

氏は消防組頭の榮職にあり又村政に參與する事數回居村のため献身奉仕の生活を營み村民よりの絶對的信望を博しつゝある。

木田剛氏

氏は石城民政黨の重鎮故木田織江氏の令息にして少壯新進の士、前代の基き民より敬仰の的となり光榮ある當選は確實

高木正隆氏

氏は少壯の新人にして此度歴到的支持を受けて斷然榮冠を目指す戦士となつた社會公共事業に奉仕する念厚き氏が平生の志は此度報いられて名譽の榮冠を戴くだらう。

長谷川紫水

木村醫院

—大野村—

大野村々會議員立候補者

順不同

- 吉田 榮次郎
- 草野 眞平
- 會田 喜一
- 西山 惠一
- 鈴木 文雄
- 野木 明
- 木村 忠一
- 西山 正清
- 中野 幸平
- 木村 庄助
- 木田 剛
- 高木 正隆

大浦村々會議員立候補者

順不同

- 渡邊 貴一
- 會川 利作
- 新妻 忠治
- 高木 林平
- 根本 助三郎
- 渡邊 周平
- 中野 忠太郎
- 片寄 甚松
- 鈴木 武兵衛
- 根本 甚吾
- 新妻 辰尾
- 愛川 軍治
- 高崎 清壽